

新モノオペラ 人情歌物語 松とお秋

松—55分 休憩—15分 お秋—61分

オペラは高くて難しい
この常識を覆す新モノオペラ！

(この新モノオペラの出張公演全費用は、軽トラック1台分の機材/道具と7名の移動費を除き、110万円です)

人足一松

大江戸の繁華街・浅草。だがその中のうら寂れた横町に、夜になるとでる「やなぎや」という粗末な屋台は、あるじの無口な爺さんとその安酒で、世捨て人や極貧の男たちが気兼ねなく憩える吹きだまりだった。松も、若い女房に浮気をされて逃げられた信吉もその常連である。

3人ががきを抱える日雇い人足の松は、小銭をこつこつと貯めてはここに通り、水で割られた安酒を飲み、たまには割水が少ない“強い”を煽り、薪ざっぽうでかかあを打ち据えるのが俺の式だ！、と気炎をあげては気を紛らわせる、人の良いその日暮らしの男である。

その夜も松は、かかあをぶん殴る自分の“式”を自慢し気炎をあげるのだが、信吉の身の上話を初めて聴いて、本音をあかし始める。そして酔い潰れた松を家に担いで行った信吉が見てしまったのは！

遊女一お秋

女街で美男の村治にお秋はぞっこん惚れ込み、江戸の岡場所をたらい回しにされ、巻き上げられた。だが彼に尽くすのがお秋の生き甲斐。通いつめる船頭・藤吉には目もくれなかった。十年も貢ぎ続け、須崎の果てまでおちてきたお秋は、今度は常陸の潮来に田舎落ちされることになる。

「必ず身請けにゆくが、その前に月に一度はきつと逢いに行く」村治は猫なで声。だがお秋の後釜に田舎娘を同じ廓に入れ、ともあろうに、潮来に流すことを告げた晩に、同じ屋根の下でその娘に睦み声をあげさせていた。

お秋を潮来に追っ払い、これからはその娘で食っていくのだ、と廓の女主人から知らされ、お秋は逆上する。

江戸を離れる前夜。一緒に蜚を見に行った蓮池に彼女は村治を誘い殺そうとする瞬間、既に村治は藤吉の手で蓮池に沈められていた。お秋は、藤吉の身代わりに名乗り出ようとするのだが――。

人情歌物語 松とお秋/上演の軌跡

◆「周五郎の哀愁」として

●2004年11月28日 沼津市真楽寺二階会堂/公開総練習

●12月4日 東京文化会館(小) 日本点字図書館・主催・本間一夫記念チャリティーコンサート

◆「人情歌物語 松とお秋」として

●2005年7月26日 沼津市千本プラザ～沼津市牧水会・主催/沼津再演

●2006年4月9・11・13・16日 全労済会館スペース・ゼロ～全労済主催 文化フェスティバル

●6月11日 浜松市アクティ(中) TFCコールサキの会・国際楽友会主催

●9月2日 東京文化会館(小) NPOみんなのオペラ主催 2006年度本公演

10日 江東区文化センター 同上

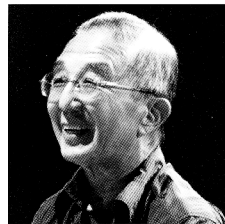
●9月19日 広島県三次市文化会館 三次市文化会館友の会、三次市観光キャンペーン実行委員会主催



おかむら たかお

岡村喬生/バス・バリトン・オペラ歌手

早大第一政経新聞学科卒、ローマ・サンタチエチリア音楽院卒、ウィーン音楽アカデミー終了。トゥールーズ国際声楽コンクール優勝。リンツ、キール、ケルン各歌劇場専属第一バスを歴任。ミュンヘン国立歌劇場で「ボリス・ゴドノフ」のタイトルロールで客演の他、オペラ、コンサートで世界各地を廻る。日本のバスの第一人者としての歌手活動のみならず、俳優、執筆、講演、オペラ演出でも活躍。NPOみんなのオペラ・芸術総監督。文静大臣表彰(国際文化交流貢献)。早大芸術功労者。



おおなか めぐみ

大中 恩/作曲家

1924年東京生まれ。1945年東京音楽学校(現東京芸大)作曲科卒業。1955年中田喜直氏等5人の作曲家と「ろぼの会」を結成。こどものための音楽の創作と発展に尽くす。1957年自作品のみを演奏する合唱団「コールMeg」を主宰。東京のみならず各地で大中作品を発表、演奏。ユニークな合唱団として名声を博したが30年を期して1987年に解散。

1961年「第1回歌曲の夕べ」を開催。以後、畑中良輔、中澤桂、平野忠彦、島田祐子各氏らの協力を得て回を重ね現在に至る。1965年混声合唱曲「煉瓦色の街」で第21回芸術祭奨励賞を受賞。以後、女性合唱組曲「愛の風船」(1966年)、男性合唱曲「走れわが心」(1968年)、混声合唱曲「島よ」(1970年)で芸術祭優秀賞を受賞。1982年「現代子どものうた秀作選・大中恩選集」で日本童謡大賞を受賞。1989年紫綬褒章受賞。

いそべしゅうへい

磯部周平/クラリネット

13歳よりクラリネットを始める。東京芸術大学を経て同大学院修了。安宅賞受賞。東京交響楽団に首席奏者として在籍後、1983年にNHK交響楽団入団。88年～89年ベルリンに留学。現在、N響首席クラリネット奏者として、また、協奏曲のソリストとしても東響、東フィル、N響等と共演。国内外でのリサイタル、室内楽、CD録音活動等と同時に東京芸大、東邦音大で後進の指導に当たる。



やすだひろこ

安田裕子/ピアノ

国立音楽大学ピアノ科卒業。伴奏ピアニストとして、また、日本オペラ振興会(日本オペラ協会)所属ピアニストとして活動。岡村の伴奏ピアノを務めて20年になる。現在、NPOみんなのオペラ事務局の代表を務める。



NPOみんなのオペラ役員

役職名	氏名	備考【】内は当NPOにおける役職名
理事長	中江 要介	元・ユーゴスラビア大使・エジプト大使兼南イメン大使・中国大使、パレエ台本作家
副理事長	岡村 喬生	オペラ歌手【芸術総監督】
特別顧問	近藤 鉄雄	(株)新時代戦略研究所(INES)代表取締役 元・労働大臣/経済企画庁長官
特別顧問	鷲尾 悦也	(財)全国勤労福祉・共済振興協会理事長 元・全労済理事長、元・連合会長
理事	入谷 泰生	日本クルーズ客船(株)取締役社長
理事	宇野 義弘	合唱団体代表
理事	江守 徹	俳優
理事	江波戸 昭	明治大学名誉教授/民族音楽学者
理事	小尾 旭	(株)ミリオンコンサート協会代表取締役
理事	金子タケコ	(株)カネコアルトトップ取締役
理事	金子 一也	(株)オフィスロンド代表取締役 (財)松下政経塾 研修塾 研修アドバイザー
理事	神田 聡	(株)博宣インターナショナル専務取締役【TVプロデューサー】
理事	白井 正信	元・東京新聞論説委員
理事	土井 秀文	会社員
理事	中西 章	歌手
理事	安田 裕子	ピアニスト【事務局長】
理事	吉田 栄夫	(財)日本極地研究振興会常務理事 理学博士、元・南極越冬隊長、前・立正大学学長
監事	松尾 清	公認会計士・監査法人トーマツ代表社員

NPOみんなのオペラ

日本のオペラを大衆化するために2001年に認可を受け設立、以後、モーツァルトの「魔笛」、プッチーニの「マダム・バタフライ」の原作の日本訳認を世界初に訂正した改訂版「蝶々さん」をレパートリーとし、今年はこの「人情歌物語 松とお秋」を上演します。「魔笛」はいつとも何処とも解らない場所でのお伽噺。従って3つとも我が国での上演に最も適した作品。そして、指揮・演出以外の総ての出演者を、国籍、楽歴、居住地などに一切の制限を付けない公募オーディションで選出し、入場券販売ノルマを課さずに、メジャーオペラ団の半額以下の値段で上演してきました。東京で創作したこれら作品は、「魔笛」が寒河江・鶴岡で既に上演され、「人情歌物語 松とお秋」が6月の浜松に続き三次市に出張公演が決まり、改訂版「蝶々さん」は2008年(夏)海外公演が予定されています。3作品共に何処にでも出張公演をいたしますので、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

みんなのオペラ事務局/〒336-0033 さいたま市南区曲本5-7-23-403 TEL.& FAX. 048-837-7056

サロン会員

どなたでも会員に！ 初年度・入会費3,000円。次年度より年会費5,000円。

当NPO制作本公演とオペラDVD3割引。岡村喬生との海外ツアーの割引、NPO主催の講演会の割引、会員限定新年会等の特典★事務局にお問い合わせ下さい。

NPOみんなのオペラ <http://www.minna-no-opera.com/>